



福島小学校だより  
**ふくしま**

No. 9  
令和4年1月6日



ホームページ <http://www.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

**明けましておめでとうございます。**

**今年もよろしく願いたします。** 校長 中村祐佳子

新しい年がスタートしました。3学期は学年の仕上げをし、次の学年への橋渡しとなる大切な日々です。子供たちが、実り多い充実した学校生活を送れる3学期となるよう教職員一丸となって取り組んでまいります。引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 「骨のある人に」

さて、今日の始業式で子供たちに「骨のある人になってほしい」という話をしました。人間の体には206個の骨があります。骨は体を支え、脳や心臓などの内臓を守っているだけでなく血液を作っています。人間にとって、骨はなくてはならないものです。

骨のことで、国文学者の中西進氏によると、人間に体、特に、顔には植物と同じ名前がついているということです。植物は芽が出て、葉が出て、花が咲いて、実がなります。人間の目と歯と鼻と耳がそれに当たります。そして「ほね」ですが、植物の優れた根のことを「秀根（ほね）」と言うのだそうです。つまり、植物の「優れた根」であるほねは、人間の骨に通じると言えます。

このように考えると根がない植物がないように、人間においても「骨がない人間」はいません。人間はだれでも骨があるのに「骨がある人」というわけは、実は骨を使うところからきているのです。苦勞することや精を出すことを「骨を折る」「骨が折れる」と言い、反対に怠けることを「骨を惜しむ」と言います。他にも、強く心に感じることを「骨にしみる」と言いますし、物事を中心となったり支えたりする意味で「骨組み」と言う言葉が使われます。

そこで、さまざまな困難に耐えて粘り強く取り組む人のことを「骨のある人」と言うのです。だから、私たち人間の体の中に200以上のたくさんの骨があっても、自分の体を使って物事をやり遂げるとか、怠けないで一生懸命取り組まなければ「骨のある人」とは言えません。「骨のある人」とは、自分のためだけでなく、人のために「骨を折ること」「苦勞や努力ができる」人でもあります。

新しい年を迎え、気持ちを新たに、子供たちが「骨のある人」に育つよう、努力することを大切に「骨を惜しまず」実行できるようにさせていきたいと考えています。

### 1月の学校行事予定です。

6日(木)始業式、交通・挨拶指導	13日(木)児童会役員立候補受付	26日(水)児童会役員選挙(1限)
7日(金)生活リズムチェック(~13日) 交通・挨拶指導	14日(金)フォローアップ開始	漢字博士試験
給食開始、身体測定1・2年	17日(月)書き初め校内締め切り	3・4年スマホ・ケータイ人権教室
10日(月)成人の日	18日(火)ALT来校日	27日(木)28日(金) 3年そろばん教室
11日(火)交通・挨拶指導 身体測定3・4年、集金1日目	20日(木)6年劇団四季ミュージカル視聴	<b>2月の主な行事</b>
12日(水)身体測定5・6年 集金2日目 委員会活動	21日(金)児童会立会演説会リハーサル	1日(火)新入児入学説明会
	23日(土)24日(日) 市科学作品展(フォルテワジマ)	15日(火)授業参観 (低学年5限 高学年6限)
	24日(月)スクールカウンセラー来校	

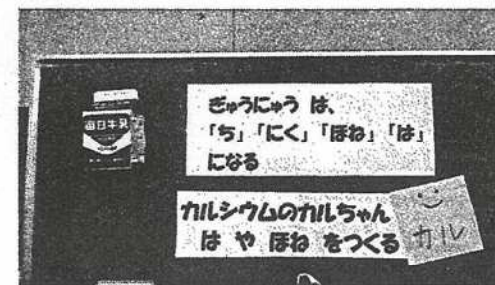
## 食育

福島小学校では、教科学習や特別活動、給食、保健指導等、学校生活のさまざまな時間の中で日々、食育を行っています。今回はその中から次の3つの場面の食育について紹介します。

- ① 給食      ② 保健指導      ③ 野菜栽培体験

① 給食の時間、子供たちはバランスの良い食事をしながら、食事のリズムやマナーを学んでいます。給食時の校内放送では、給食委員がこんだての内容とその日の食材の栄養の話をしたり、保健委員が保健クイズをしたりして、食事が健康に大切だということを伝えるようにしています。また、食後の歯みがきも重要です。養護教諭と保健委員が手洗い場で各学級の歯みがきの様子を見守り、歯みがき習慣が身に付くようにしています。

② 保健指導は、身体測定前の15分間を使って行っている健康についての指導です。昨年度と今年度は食育に特化しました。今年度は給食で牛乳を残す子が多いことに着目し、牛乳に含まれるカルシウムが子供たちの身体の成長と健康のためにどれほど大切な役割を持っているかに気づいてもらえるように指導しました。とくに低学年の子供たちには、栄養素に親しみやすくなるように、カルシウムを「カルちゃん」というキャラクターで登場させました。この指導のあと、『今日は牛乳を飲んだから「カルちゃん」をいっぱいとれたよ。』と話すなど、子供たちは栄養バランスの取れた食事をする大切さを理解し、好き嫌いをしないで食べるようになってきています。



③ 野菜の栽培体験では、なかよし学級1組において、畑でらっかせい・だいこん・じゃがいもを育て、収穫したそれらの野菜を調理して試食しました。らっかせいは炒って、じゃがいもは「フライドポテト」にして、だいこんとじゃがいもは「おでん」にして食べました。自分たちで育てた野菜を食べることによって、ふだん食べている食物の生産にかかわる人々へ感謝し、食事の喜びや楽しさを味わいました。

小学生の時期は、自分で考えて行動できる生活習慣を身に付けるチャンスです。基本的な食習慣を整え、健全な暮らしの基礎固めをしていく大切な6年間だと考えています。福島小学校ではご家庭の協力を得ながら、これからも食育を推進していきたいと思っております。

(福島小学校：食育部)